



# 明 微

六月定例会にて



## 鉾田町商工会 青年部規約

### 目 的

◎部員の人格識見を高め、経済人たるの資質の涵養と経営合理化等の研究に努め、もつて、地域経済の総合的な発展に寄与することを目的とする。

### 部員の資格

◎商工会の会員、その家族及び従業員とし原則として満十八才以上の男子及び女子とする。

### 創刊によせて



鉾田町商工会会長 武田 貞

に大きな影響をもたらしました。政府はインフレ押え込みの手段として総需要抑制策をとり、金融引締策を堅持したため、不景気下の物価高と云う現象を呈したのであります。

この度商工会青年部会報創刊の運びを聞きまして御同慶に存じますと共に、日頃皆様方がお寄せ下さいます御協力に對してあらためて厚く御礼を申し上げます。前会長塩谷さんが永い間その人格を以つて会員皆様の信頼のもとに会の運営に當り、小規模企業者の育成指導と発展に努力を成されましたが、今度の役員改選により後進に道をひらくとの事でお辞めに相成りました。私はその後任として選任をお受けしましたが、重責を果し得ることが出来ますかどうか荷の重みに不安を感じる者でございますが、お受けしました以上は最大の努力を致し先輩のご指導を仰ぎ乍ら役員のご意見ご配慮をいただき会員の協力のもとで重責を果してゆきたいと念願致して居ります。

企業は在庫増大のため操短を余儀なくされ倒産会社も出るあり様でそのため経済の立直りを心配し冷え込みへの警告の声の中で引締政策が、ようやく転換されており、景気回復策も講ぜられ迷状態を続けております。今後

の経済動向に注目しつつ会運営にあたってゆかねばならないと思ひます。県都水戸市に於いての大型店進出はダイエーをもつて一応息を入れたかにも見られ

ましたが、石川町にジャスコが規制を破るに破る五千平方メートルの大型小売店が現出しオープン致して居ります。そのため

か既存の中小企模店は当鉾田町のような中小の都市に向かつての出店が考えられる中、当町の

カスミストアが小川町、潮来町に次いで千五百平方メートル

弱と云う規模では有りますが先月オープンしたのであります。

消費人口が水戸その他周辺の都市へ流出が年々増加する傾向の中、さらに頭痛の原因になって

居ります。今後も当町への出店は考えられますので商店経営は

ますます激化することと思われ

ます。消費者の声が重要視され

国際的要請などで小売業の自由

化の声が大きく私ども中小零細

企業者を保護する施策も充分と

は思われず心もとないものがございます。不況のもと鹿島臨海

工業地帯も沈滞しているが景気

の上昇の波に乗ればその偉容を

まざまざと現わす事でありまし

よう。国鉄鹿島線の問題当町都

市計画等、一大難局とも云える

ときにお互に集い検討し、振興

策を練つて対処せねばならない

と存じます。

人間はいつの時代にも若い人

々にさまざまな期待をかけてま

いりました。若さがもつ強い体

力何ものにも恐れな意思、俊

敏な頭脳、それが沈滞しようと

する社会に新しい力を注ぎこん

で来ました。いつも時代の変革

を担ったのは若い人々でありま

す。青年部の皆さん方は激務の

中であつてその余暇を利用して

例会の外、研究会等にて勉強し

講習会に耳を傾けつつ新しい世

代の担い手として努力を重ねて

おります。

皆様方の姿勢にはあらためて

感謝致します。今後も多事多難

そのものであります。今後はつらつとした力の輪が大きく拡がる事を祈念するとともに商工会の先

駆者となつて会発展の為御活躍

下さいますことをお願い致し発

刊の御祝詞にさせていただきます。



部活動に想う

青年部部长 田山 芳彦

私が、どのような基本方針で商工会青年部を運営し、何を追求して行こうとしているのかを理解していただくために、商工会青年部や、その他のグループ活動に身をおく精神的なものを、自分なりに分析してみようと考えました。この中から、私の行動理念というか、理想感なりを感じとっていただければ幸いです。

まず最初に、我々は、この世に生を受け死ぬまで、毎日を生話し続けるという絶対的な事実を認識し、その厳然たる事実の上で、人間としての存在価値をどのようなものに求めて行くべきなのか！……という命題の上に立って、自分の生活というものを見つめてみる必要があると思います。

我々は、一人／＼様々な環境と事情の中で、現在の仕事に生活の基盤をおくことを、自らの意志で、決めたいことと思いません。よく自分の仕事に対して、

いろ／＼と言いつけて、自分の情熱のなさに理由をつける人がいます。最終的に自分の意志を決定した以上、最善を尽くすのが、男としての最少限の責任です。そこに、なんらかの言い訳をはさむことは、現実からの逃避であり、自己否定にもつながることであると思います。そして、最少限の責任を全うする努力と平行して、我々は、社会的にもなんらかの役割を果たして行くべきではないだろうか……

……普遍的価値ある人生実現への努力、そんなところに存在価値の一端があり、本当の充足感が得られるような気がしません。具体的に言うならば、ひとつは、鉾田町の発展に我々の若さを、役立てて行くことであると考えます。しかし、どんなに遠大な理想を抱いても、個人が一人でできることなど無に等しい……我々が、何らかの社会的役割を果たすとともに、いくばくの影響力を持つことができるとすれば、有機的な団結をもつてする以外にはないのではないのでしょうか！……辻邦生氏の書に「人間は信頼しなければならぬ、人間は連帯しなければならぬ、人間はそれ以外に救いはないのだから」と、有りません。有機的な団結を培う素地たり得るものは、お互いの信頼以外にはなく、それを確実に成し得る

るのは、若さだと、僕は思います。未完成なるがゆえの無限の可能性、存在価値に唯盲従するのみではなく、新しい価値を創造してゆける柔軟性、等々、若さのすばらしさを失う前に、有機的団結への基礎を、作っておくべきではないのでしょうか。そのような観点に立って、青年部活動の意味と、果たすべき役割をとらえるならば、青年部の重大な指命のひとつは、前記の抽象的な若者の可能性を、具体的な力へと転化させて行く媒体となることだと考えます。

いろ／＼な活動を通じて、お互いの啓発をはかりながら、あらゆる現象に対処できる有効な団結を造り上げてゆくことが、重要だと考えます。

私は、若い皆さんにまず、事実を事実として認識する知的誠実さと、お互いの力を十分に引き出し、大きな団結力とし、町発展のイニシアティブをとって行うこととする気構えを期待します。

次に、地域社会の発展と、それに、我々が寄与して、初めて自分達の生活に大きな価値と意義とが生ずるのだという自覚を求めます。そのようにして出来上がった団結力を、職業とか、地域とかの、狭い、エゴイステックな利益追求のために利用するのではなく、もっと大きく成長させて行きたい。

現在の鉾田町は、多方面にわたり、はかりしれない問題をかかえて、いろ／＼な意味で、大きな転換期に直面していると思えます。

ひとつは、鹿島港、国鉄鹿島線、水戸を中心とする百万都市計画と、我々の生活に重大な影響を及ぼすであろう。環境の激変という現実です。

商業的な見地から、これらのことをとらえるなら、水戸商圏の中に位置すると同時に、鉾田独自の商圏を、その中に形成するという状態にある。鉾田町にとって、前記の環境変化を利益にしようとするビッグストアーの大量進出が、どのようなことを意味するかは、一目瞭然だと思えます。そのような状況に対処するには、個人的な力の範囲を、はかるに、越えている。つまり我々がより活発な商業活動を願うなら、魅力ある町造りから考えねばならない。ということだと思えます。まず／＼交通機関が発展する今、水戸と鹿島の間に位置する鉾田は水戸とは異なった魅力を造り上げなければ、商業的過疎地になってしまいう危険性は、充分だと思えます。商業的にかぎってみてすら、数知れぬ問題が有るわけです。こうした商業的側面は、ほんの一部であり、農業、その他の方面でも、

限らない問題が有ると思えます。人間、誰も自分の立場を中心にして考えるもの、他の立場で問題をとらえることは、不得手です。そのような欠点を補い合うのが、横のつながりであると思えます。一問題を全体的にとらえ、解決して行くべき団結力が、欠如しているのが、健全な町の発展の、大きなマイナス要因になっていることは、事実だと思えます。

商工会青年部の新聞を、あえて新聞折込みにした理由が、その辺に有ります。何を主張するにも、裏付けのないものではない力を持たないでしょう。この新聞がきっかけとなり、すばらしい力が生まれることを期待します。我々の活動に関心を持たれる方は、私(二、四〇八)なり、商工会事務局(二、二二四六)なりに、連絡戴ければ幸いです。手を握り合って価値有る人生を構築してみようではありませんか！……。

微 明

引き締めようと思うなら、しばらく拡張させておくに限る。弱めようと思うなら、しばらく与えておくに限る。この道理を知ること。「微明」という。柔弱は剛強に勝つものなのである。



### 部活動に参加して

青年部副部長 山崎 健一

青年部活動に参加して四年、いろいろな角度から、この活動をとらえ、かつ、行動するなどして、商工会、商店会、青年団など、商工会青年部を含めて、これらの組織活動がどうあるべきかと考えました。

我々、青年部の役割は何かと問われるとあまりにも抽象的でこれだというものが考えつかないが、私はとにかく青年部は若人の集りなのだ。何か行動を起こさなければ、今以上の進歩はあり得ないと思う。たとえ、失敗したにしても、私達は若い。その若さで失敗をとりもどせる力をもっているのだ。

私達の住む、鉾田は今、大きく変ろうとしている。具体的に言うまでもないが、鹿島工業地帯を中心とした都市構成など、大きな問題が充満している。この変動の時代に生きて、それらの問題を考える事が、できるのは、言ってみれば、幸福なのかも知れない。それだけに、これからの、町作りと言うものを、真剣に考えて、いかなければ、

ならない。

いままでの鉾田は、独特の商圏を持ち、他商圏との、せり合いもなく、商人そのものが、安閑としてきたような気がする。それだけに、消費者の立場を考えた商売というものが、薄れてきたと思う。これから先、この様を考え、商売をしていくならば、私達の商圏は、近い将来必ず、くずれていくであろう。

商人は、金を儲けるだけで、あろうか。もし、それだけで、あつたら、商売に生甲斐は、感じられないと思う。物を売る事により、その品物を買った、消費者が、満足をし、喜んでもらえる。それが本当の商売であり生甲斐を感じてくるのだと、思う。それと共に、消費者が、安心して買物が出来る環境を、作ることも、私達商人の役割ではないだろうか。この様な問題を討議し、改革してゆく事が、我々青年の義務だと思う。



### 「発刊によせて」

青年部副部長 山崎 英策

商工会青年部会報を創刊するにあたり、私は商工会青年部を離れて、鉾田町について感じていた事を述べてみたいと思います。

私が生活している中で現在駐車場が不足している事と憩いの場が少ない事に感じます。駐車場については色々話題が出ていて改善策が取りざたされているのでこの事については今さら云う迄もないことだと思えます。私達がスポーツをしようとしても、その設備が鉾田町には不足しています。この為にスポーツをしようとしても思うよう

に出来ず、又スポーツを行う為には多くのハンデーが負いかぶさる為現場を確保するだけでも非常に苦労をしているのが現状です。このような状態に於いてスポーツ振興をする事はむずかしい事ですし、又スポーツ意欲をも減少させているものと思えます。もう一つに町に公園がないのも不満でなりません。公園は町民の憩いの場として、非常に大切なものではないでしょうか。このように考えた時、なぜ鉾田町には公園がないのでしょうか。私としては考えられない事です。公園があれば子供達は公園内で安心して遊ぶ事もでき、親達も安心して公園に子供を連れて来て遊ばせる事が出来ると思えます。このように考えただけで、公園の良さがわかると思えます。ここで私達が考えなければならぬ事は、公園が出来ていないと云う事ではなく、私達が私達の生活に必要な物が出来ていなければ、作るように働きかける事が大切だと思えます。では私達はどのようにしたら良いのでしょうか常に私達自身が町政に関心を持

ち町政を監視していく事だと思えます。このようにする事により私達の生活もより良いものになると同時に鉾田町が住み良い所になって来るのではないのでしょうか。

### 「発刊によせて」

経営指導員 重藤 憲治

ここに、会報を発行するに当たり、執筆の機会を与えて下さった、青年部の方々に、深く感謝すると共に、原稿を書こうにも良い文章が浮かばず、苦慮しつつ、書き上げてみました。

頭書に、商工会の事業及び、あり方などについて、触れてみたいと思う。商工会は、昭和三十五年法制化以来、高度経済成長と共に、順調に発展してきた。思われますが、一昨年来の不況の波を、直接に受けました。中小企業者の団体であります商工会は、与えられた使命達成の為に、その活動の充実を図っていかねばならない時のようです。では、商工会とは何であろうか。商工会の目的には、こう書いてあります。『地域商工業の総合的改善発達を図ると共に、地域社会へ寄与する。』と、すなわち、商工会を握り所として、経営努力を重ねてゆけば、企業発展があり、地域社会も発展してゆくのだと、解釈しております。では具体的事業は何をするのであろうか。経営に関する相談指導。資金の調達方法等の金融相談指導。税金問題等に関

する相談指導。労務対策問題に関する相談指導。各種問題に関する講習会、講演会の開催。記帳代行等があげられ、経営の合理化、近代化等の相談指導の業務を行っております。

以上が、経営改善事業といわれます。その他、一般事業といわれる事実を、部会活動中心に、商工業者発展の為に事業を行っております。

この部会活動の中に、青年部があり、会長と相談しつつ、独自の活動を行っており、その目的は、商工会と全く同じであります。

戦後、驚異的發展を遂げたが日本経済も、今最大の不況の中にいる。商工業者の後継者の集りである青年部は、何をしなければならぬのであろうか。

苦況期を切り抜ける為の知識の涵養。経営者の代理者としての、企業発展の為の仕事。と、その活動は限りなく大きくなるであろう。又、生業的経営から企業の経営へと脱却しつつ、社会発展の為に、努力しなければならぬであろう。

青年部活動を通じて、次代の商工業の指導者となることは、必至であり、その活動は、大変やりがいのある事でありましょう。

低成長時代に突入したといわれる今日。それにともない、変化してゆく経営環境を正しく捕らえ、経営の役に立てる即応性青年部の良さは、新鮮な感覚と、活力にあふれた組織力と行動力。その豊かな思考力と、事業推進

力と思われる。

このような社会情勢の時こそ青年部の存在する姿を問われる時であろう。厳しい経済情勢下その経営対策に迫まられている今日、経営者二世としての青年部は、精神的結束をかため、その目標にむかつて、推進してゆく必要があると思われる。地域商工業の体質改善。ひいては、商店街の近代化の為、今後ますます、活動を盛んにしていただきたい。

企業の繁栄は社会の繁栄であり、人々の幸せであります。今こそ結束し、行動する時でなからうか。行動力こそ企業繁栄を招くであろう。計画、実行、反省。これが経営の原則です。部員諸氏の、これからの活躍を、期待致します。

### 事業

- 一、商工業に関する情報及び資料の収集と提供。
- 二、商工業に関する経営の研究
- 三、商工会の行う事業活動に積極的な協力
- 四、先進地の視察研究に関すること
- 五、部員相互の教養の向上と親睦に関すること
- 六、部としての意見を具申し又は建議すること
- 七、部員の福利厚生に関するこ

と

八、会費 月額五〇〇円

四十九年度事業実施状況

- 鉾田に於ける経営実態
- 商工会長杯野球大会
- 青色申告記帳講習会
- 模範スキー映画鑑賞
- 年末歌謡ショー協力
- 地域商店街研修視察

五十年年度事業実施予定

- 経営ゼミナール 六月
- 青年部会報 七月
- 商工業実態調査 九月
- 町執行部との対話 十月
- 自由参加ハイキング 十月
- 部員間懇親旅行 十一月
- 年末歌謡ショー協力 十二月
- 雇用問題討論会 二月
- 先進地視察 二月
- 定例会 毎月第二金曜日

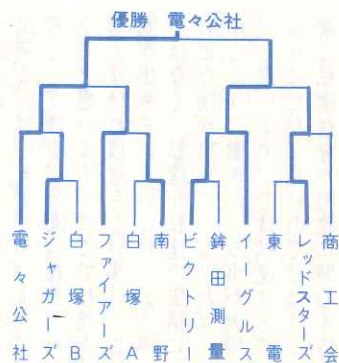
### 第三回商工会

### 会長杯野球大会



### 部員紹介

- |       |         |
|-------|---------|
| 田山 芳彦 | 喫茶      |
| 山崎 健一 | クリーニング  |
| 山崎 英策 | 電気器具店   |
| 大槻 幸治 | 製材      |
| 鬼沢 好紀 | 飲食店(そば) |
| 栗原 修  | 牛乳販売    |
| 桜井 正昭 | 建築士     |
| 塙 一郎  | スーパ     |
| 渡辺 隆  | 金物店     |
| 磯崎 優  | 旅館業     |
| 石崎 千明 | 飲食店     |
| 二重作惣治 | 自動車販売   |
| 勢司 正躬 | スーパ     |
| 星野 博光 | 呉服店     |
| 永長 和広 | 豆腐製造    |
| 二重作仙里 | 自動車販売   |
| 斉藤 守三 | 理容      |
| 二重作貞雄 | 石油類販売   |
| 中山 末夫 | 建築業     |
| 本村 貞夫 | 陶器販売    |
| 塙 茂天  | スーパ     |
| 小島 敏男 | 家具販売    |
| 大森 重信 | 薬局      |



### 編集後記

数年越しの懸念であった青年部会報がまとまり、肩の荷をおろしているところです。

先日常陽開発センターの「鉾田町周辺市町村小売業の現況調査」で、商業力指数が四十五年度百三十五パーセントあったものが四十九年度に何と百パーセントまで落ち込んだということがあった。この資料を手にして驚いたのは私一人ではなかつた。

「石崎」

つゆも明け、毎日三十度を越す猛暑に、私共々、閉口していることと思えます。心から暑中御見舞い申し上げます。

この会報の編集が始まったのがつゆの真最中、やりつけない仕事とは言いながら、あつという間に七夕も過ぎ、あれやこれやと、つまづきながらも会合を重ねてゆき、やっと完成と言うときには一面に輝くばかりの青

「箕輪」

- 真家 吉市 自動車修理
- 小野瀬正美 農機具販売
- 岡村 忠 輪業
- 君和田 孝 理容
- 箕輪 潤 写真館
- 岩崎 忠介 飲食店
- 岡本美津男 洋品
- 青年部担当経営指導員 重藤 憲治
- 崎山 悟

広く部員を募集します  
私達と共に活動してみませんか！  
連絡先 商工会(二)二二四六  
担当者 崎山 悟